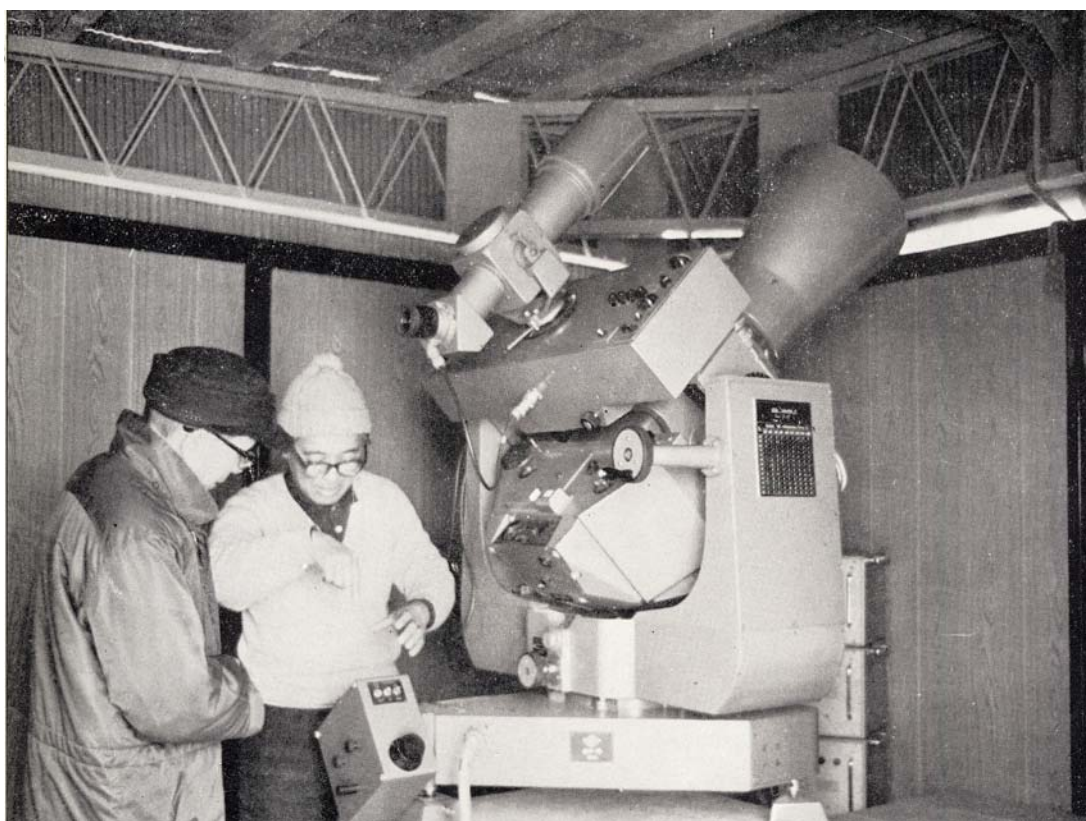


* ソ連製 AFU カメラの写真発見

アーカイブ新聞第12号で堂平観測所にあった人工衛星追跡用のソ連が持ち込んだAFUカメラの消息についてお知らせした。元堂平観測所勤務の人にAFUカメラの写真を持っていないかと聞いたところ、ソ連の担当者は写真を撮る事を許してくれないばかりか、観測室にも入れてくれなかったと言う。そのAFUカメラは堂平観測所閉鎖時に法月技研に託されたと聞き、探索の結果、まだ法月技研にあることが分かった。現在の社長の好意で国立天文台に返されることになり、輸送の手配を進めているが、このたびその写真を発見した。天文月報65巻10号(1972年)の月報アルバムの「人工衛星追跡カメラのいろいろ」に掲載されていた。下の写真がソ連製人工衛星追跡用AFUカメラである。



写真に写っているのは、富田弘一郎氏と下保 茂氏と思われる。

堂平観測所にはNASAが持ち込んだ人工衛星津席カメラ(ベーカナンシュミットカメラ)もあったが、これは堂平観測所閉鎖時に姫路科学館に譲渡されており、もはや国立天文台には返ってこない。

